

総括質問

三月定例会では、八人から総括質問が行われました。
(質問順に掲載)

約束を果たせるのか



平田 昇議員

体感、福祉の向上、健全財政等の原則に立ち、調整していく。

民業を苦しめるな

平田議員 「滝の宿」・

「あびる館」が、宴会等の営業をするのは、やめてくれとの訴えがある。納税の義務もなく、赤字を出せば税金をつぎ込み、民業を苦しめてきた。合併して、この運営をどう引き継ぐ考えか。

民間業と

共存・共栄を

要は合併後の

町づくり

北村町長 合併後に、一

町長 業者の訴えは当然だが、二町は町民のニーズに添えて、町が一〇〇割出資する地方公社であ

る株式会社を議会も認め、運営してきている。今後における両施設のあり方については、合併時までに調整していき、合併後でも民間業と、共存・共栄できるように検討の必要があると思う。

タクシーに 切り替えよ

平田議員 以前、町長の専用車を、普通の車に切り替えよと提言したが、来賓の送迎に必要とのことであった。多くの先進

地では、公用車をタクシーに切り替えて、経費を三分の一に落としている。有能な運転手は、事務的部署で力を発揮すればよい。

議員の手当も削り、財政にインパクトを与え、なぜ合併かを理解できない相手町に、我が町の行革への姿勢を示せ。

行革を進める

町長 国の財政を考えれば、行革を進めざるを得

ない。二町は、私たち以上に厳しいのではないかと。合併の協定項目を基本に、行革に取り組む。

進学クラスを

設けよ

平田議員 大学志望の生徒は、町外の高校で学ぶが、地元高校を選ぶ生徒にも、向学心と力を併せ持つ、または適正な教育の場で芽を出す、または入学と同時に、自然発芽する生徒も多くなるのだ。高校の統合に際し、進学クラスをひとつ、その設置は強く県に要請されよ。昔は、我が町の高校も一流大学に送り出していた。それを、力を合わせて取り戻そう。学力がつく町には、子供たちも集まる。それが学園都市だ。

県に要請してある

町長 まったく同じ気持ちであり、口頭ではあるが、県に強く要請した。校長を交えて高校を運営する会を考えたい。



宮之城高校(上段)と宮之城農業高校(下段)